

# 『精神障がいの方に対するコミュニケーション、対応方法について』 アンケート集計

1. 所属：①民生委員児童委員：8      ②ヘルパー：2      ③ケアマネジャー：12  
④障害福祉サービスに関する支援者：10      ⑤その他：12

## 2. 勉強会の内容はわかりやすかったですか。

- ① とてもそう思う：31      ② ややそう思う：12      ③ あまりそう思わない：0      ④ 思わない：0

## 3. 本日の勉強会に満足していますか。

- ① とても満足：30      ② やや満足：12      ③ あまり満足していない：0      ④ まったく満足していない：0

## 4. 感想(良かったこと、改善点等)を具体的に教えて下さい。

- ・コミュニケーションの大切さ、相手の話を最後まで聞くことの大切さを学んだ。
- ・わかりやすい内容で、支援の方法を学ぶことができた。
- ・シビアな内容が多いなか、柔和で肯定的な先生のお話しがずっと入ってきた。
- ・それぞれの疾患に対する症状や診断基準の説明があり、コミュニケーションの型についての説明もとても分かりやすかった。すぐに試してみたい。
- ・疾患別の症状や対応など、具体的な内容で、とても分かりやすかった。傾聴だけではなく、そのうえで、問題を明確化して本人が自分で答えを見つけだせるよう提案していく支援が大切であることがよく理解できた。業務に活かしていきたい。
- ・初めてこのような勉強会に参加した。どのように対応したらいいか、少しわかった気がする。今後に活かしたい。
- ・疾患、症状の説明があり、ケーススタディができたので、整理しやすかった。
- ・アセスメントの重要性が理解できた。
- ・講義は実践的でよく理解できた。
- ・傾聴の大切さを学んだ。
- ・「会話をじゃんけんでイメージする」という表現がとても分かりやすかった。
- ・「なるほど」と思うことが多々あり、「常に」「いつも」というキーワードが出てきたら例外探しをしてみるというのは、特に「なるほど」と思いました。
- ・対応方法については、障がいの有無に関わらず利用できると思った。
- ・障がいの特徴を知ること、利用者の思いを知ることができた。今後の参考にしたい。自分の言葉に「でも」が繰り返されていたのではと気付かされた。今後は意識して対応していきたい。
- ・あらためて自分の対応を思い返すと、逆説の接続詞を使っていることが分かった。相手の気持ちに寄り添えていなかったことに気付いた。今回学んだことを活かしていきたい。
- ・やってはいけないことをやっていたことが分かった。後出しじゃんけん、やります。
- ・自分の対応を反省する場になった。
- ・統合失調症やうつ病は心の病と思っていたが脳の疾患だと分かり、これからの接し方のヒントになった。
- ・難しい話だったが、実例などが聞けて良かった。
- ・私には少し難しすぎましたが、参加して良かった。

- ・話のスピードが速く、理解するのに追いつけなかった。
- ・グループワークが良かった。みなさんの意見が聞けて、仕事に活かせる内容も多かった。発表して先生の感想を聞いたことも良かった。
- ・グループワークが楽しかった。
- ・グループワークの司会が決まっていたので、スムーズに話し合いができた。
- ・グループワークでは、実際に臨場している方々のご意見にとっても感心した。
- ・家族に障がい者がいる方や、支援者の話が聞けて良かった。

## 5. その他、自由記述欄。(質問、疑問、今後してほしい勉強会等、自由記述)

- ・たくさんの意見が聞けて、学ぶこともたくさんあった。本当に楽しく学びのある時間をいただき、ありがとうございました。
- ・最後の質疑応答が良い学びになった。
- ・事前の質問の回答がほしかった。
- ・児童、高齢、障がい、いずれも原点はコミュニケーションだと感じた。
- ・支援の時間は限られている。話を聴き取る時間がないなかで、本人が何もしてくれないと思っている。どうすればいいか。
- ・今回の勉強会は良かったので、継続してほしい。年に1回だけではなく、回数を増やしてほしい。
- ・グループワークの際、他のグループの声が大きすぎて自分のグループの声が聞こえにくかった。専門職の方が多く、理解できない言葉があり、もっと勉強しなくてはと思った。
- ・第3回の勉強会をお願いします。知的+精神等。
- ・知的、精神等、複数の障がいがある方の対応が難しい。
- ・精神疾患や自閉等、今後高齢分野でも必ず必要になってくる知識なので、様々な疾患やコミュニケーション技法の勉強会をしてほしい。
- ・妄想性障害やパーソナリティ障害の方が増えているので、どのように関わったらいいか知りたい。
- ・対応に失敗した場合の修正方法が知りたい。
- ・事例検討会を開催してほしい。
- ・コミュニケーションがうまくいくような空気づくりについての勉強会をしてほしい。
- ・外国人利用者が今後も増えてくると思う。言葉の壁、精神障がい、習慣の違い、なかなか理解できず、表面的でかわりで終わっている。ケーススタディをしたい。
- ・学校を卒業したばかりの知的障がいの方。今後の長い人生、どういう方向に導いていくかケーススタディしたい。
- ・ひきこもりや強度行動障害の方の支援について学びたい。
- ・参加できて大変良かった。また参加したい。

以上